

コロナ禍で失われた時間を取り戻し、  
授業をより良くしたいと思っている方、必見です！  
さあ、新たな一步を踏み出しましょう。

# 先生も楽しい！ いっしょにつくろう ダンスの授業

2023年 秋の研修会

東京都女子体育連盟  
全国ダンス・表現運動授業研究会

日時： 10月15日(日) 10:00~12:30 (受付9:30~)

場所： お茶の水女子大学附属中学校

参加費： 500円 (資料代・保険等)\*当日会場にて

入構の際、身分証明書と、この  
チラシをご持参ください。

## 10:10~10:30 ウォーミングアップ

小さい子から高校生まで、パツと引きつけるウォーミングアップ。レポートリーを  
広げるチャンスです。心を湧き立たせ、授業に弾みをつけましょう。

## 10:30~11:15 幼児・小学校の実践から

### 「さんぽストーリー」

キャッチボール方式で次々と動きを引き出します。

### 「なんでもレストラン」で楽しい授業を！

子どもたちは、動くの大好き！好きな歌や食べ物も  
ダンスにするのもっと楽しい！でも、ちょっと待って、  
どうやったら食べ物がダンスになるの？—— そこが  
ポイント！「なんでもレストラン」をテーマに授業の  
作り方をお伝えします。材料がおいしい料理に変身—  
つまり、始めと終わりの動きが変わるとダンスの表現  
も深まることを体感してください。

## 11:25~12:25 中学・高校の実践から

### 「走る-見る」の題材からグループ活動に迫る

教師は、生徒のグループ活動をどんな風に診断し  
て、どんな支援をしているのでしょうか？

今回は、「走る-見る」という、基本的な題材を用い  
た授業を実際に行い、教師が動きを引き出す前半だけ  
でなく、生徒がグループ活動をしている後半に、「どん  
な言葉をかけることが有効か」、について、皆さんと生  
徒役や教師役を体験しながら、整理していきたいと思  
います。明日のダンス指導に、ひとつ自信をつけてい  
ただけることと思います！

## 【申込み】 締め切り 10月7日(土)

東京都女子体育連盟のHP 申込みフォームから  
お申し込みください。(QRコードをご利用ください)

<https://tokyo-joshitaiiku.jimdofree.com/>



★ご質問などは、  
東京都女子体育連盟へメール  
でご連絡ください。

[tokyo.joshitaiiku@gmail.com](mailto:tokyo.joshitaiiku@gmail.com)

丸ノ内線「茗荷谷」徒歩7分  
有楽町線「護国寺」徒歩13分  
正門より直進し、右側奥の  
附属中学校体育館へ  
※会場に直接ご連絡する  
ことはご遠慮ください。



## 2023年度 秋の研修会へのお誘い

# 先生も楽しい！ いっしょにつくろう ダンスの授業

東京都女子体育連盟 全国ダンス・表現運動授業研究会 共催

コロナ禍を乗り越え、東京都女子体育連盟の研修会も以前にも増して充実させていきたいと思っております。下記の通り、「全国ダンス・表現運動授業研究会」との共催で研修会を開催いたしますので、是非、ご参加ください。

ダンスの授業も思うようにできない日々が続きましたが、今こそ、また新たな一步を踏み出すときです。「私たちがやらなければ誰がやる」との意気込みで、一緒に進んでいきましょう。志を同じくする仲間こそ勇気と自信の源です。ご参加を心よりお待ちしております。

東京都女子体育連盟会長 布施典子 栗原知子

1. 日時 2023年10月15日(日) 10:00~12:30 (受付9:30~)
2. 会場 お茶の水女子大学附属中学校 体育館アリーナ
3. プログラム

9:30	受付開始
10:00	挨拶 東京都女子体育連盟会長
10:10	ウォーミングアップ①リズムに乗って：君和田雅子(お茶の水女子大学附属中学校) ②さんぽ：笠井利恵(竹早教員保育士養成所)
10:30	<幼児・小学校部会の実践から> 「さんぽストーリー」 担当者：笠井利恵(竹早教員保育士養成所) *先生が問いかけて、子どもが動きで答えていく「キャッチボール方式で、多様な動きを引き出す方法を学びましょう。 「なんでもレストラン」 担当者：浅川典子(江東区立第一亀戸小学校) *材料がお料理に！その変化を楽しみます。はじめとおわりが全く違う動きになることで、表現が深まることを体感しましょう。 ■お互いに声かけの練習をし合って、あなたなりの声かけの仕方を見つけて自信をつけましょう。問いかけこそが授業の命とも言えるのではないのでしょうか。
11:15	休憩
11:25	<中学・高校部会の実践から> 「走るー見る」の題材から 担当者：藤田久美子(國學院久我山中学・高等学校) 宮本乙女(日本女子体育大学) *「導入⇒一緒に課題を動く⇒リーダーに続け⇒3人組でリーダーに続けてよかったものをまとめる」この活動のなかでの教師の指導行動・指導言語に着目します。お互いに作品を見せ合う際に、教師目線で自分だったらどのような声かけをするか、実際に作品を見て助言をしてみましょう。 *教師の見る目を養う意味でも、偏りはないか、どのような助言が有効か、などの意見交換をして、よりよい声かけを会得しましょう。 ■教師の声かけで生徒の作品が見違えるほど豊かになったとき、教師冥利に尽きる瞬間があなたを待っています！
12:25	まとめ 全国ダンス・表現運動授業研究会代表
12:30	終了